英検準1級 テンプレ集　W1 意見論述

120〜150語・目安20〜25分

1 最初の2分：問いの型を見て「立場文」を1つ作る

型	問いの例	立場文（賛成）	立場文（反対）
べき型	Should companies allow ~?	companies should allow ~	companies should not allow ~
予測型	Will ~ increase in the future?	~ will increase in the future	~ will not increase in the future
可能型	Can ~ replace ~?	~ can replace ~	~ cannot replace ~
比較・評価型	Is ~ more important than ~? / Is ~ a good idea?	~ is more important than ~	~ is not as important as ~

立場文は、問いの語順を平叙文に戻すだけ。反対なら not を入れる。前の版の「I strongly question the notion that ~」は、反対の言い方として不自然になりやすく、予測型・可能型に合わないので使わない。

2 型（賛否どちらも同じ形）

赤い下線＝自分で埋める

導入 15〜20語	**I believe that** 立場文 **for two main reasons.**
理由1 45〜55語	**First,** 理由1：POINTを言い換えた主張 **. For instance,** 社会・企業・政府レベルの具体化 **. As a result,** その結果、誰がどう良く／悪くなるか **.**
理由2 45〜55語	**Second,** 理由2：別のPOINT **. This is because** 理由の理由（仕組み） **. Therefore,** 結果 **.**
結論 15〜20語	**For these reasons, I believe that** 立場文（語を変えて） **.**

型の固定部分は約30語。残り約100語を自分の内容で埋める。1文15〜18語×8文で約130語になる。

3 中身の作り方（点差がつくのはここ）

- **POINTSから2つ選び、理由1と理由2に1つずつ。**2つの理由が同じ中身（例：費用が減る／お金が浮く）にならないこと。違う観点（お金と健康、個人と社会）を選ぶ。
- **POINTの語をそのまま書かず、言い換えて使う。**Cost → the financial burden、Health → people's physical and mental health。
- **具体化は「一般論」で。**「私の友人は」のような個人の体験は使わない。主語は people / companies / the government / many students など。
- **理由2は「仕組み」で一段深くする。**This is because ~ で「なぜそうなるのか」を足すと、理由1と同じ形の繰り返しを避けられ、論理の点が取りやすい。
- **結論は新しい内容を足さない。**語数が足りないときだけ、理由1・2を短く言い換えて足す：..., since 理由1の言い換え and 理由2の言い換え .

4 減点されやすいところ

- ✕ In my opinion, I think ~（意味の重複）
- ✕ 短縮形 don't / it's / can't
- ✕ more and more の多用 → increasingly / a growing number of
- ✕ 名詞の数：many company → many companies
- ✕ 理由1と理由2が同じ中身
- ✕ 問いに答えていない（立場が途中で変わる）
- ✕ 120語未満・150語を大きく超える
- ✕ 3つ以上の理由を詰め込む

5 記入例

賛成・約130語

TOPIC: Should companies allow their employees to work from home?　POINTS: Productivity / Work-life balance / Costs / Communication

I believe that companies should allow their employees to work from home for two main reasons. First, remote work improves employees' work-life balance. For instance, workers no longer need to spend long hours commuting on crowded trains. As a result, they can use that time to rest, exercise, or take care of their families, which helps them stay healthy. Second, working from home can reduce the financial burden on companies. This is because businesses can rent smaller offices and spend less on electricity and transportation allowances. Therefore, they can invest the money they save in developing new products or training their staff. For these reasons, I believe that allowing remote work brings great benefits to both companies and workers.

理由1＝Work-life balance（健康・生活）、理由2＝Costs（お金）。観点が重ならない。

W2 要約・理由ネタ帳・見直し

要約は60〜70語・目安15分

1 要約：まず本文の型を見分ける

3段落を、1段落＝1文に

本文は3段落。どの型かで、使う文型が変わる。前の版は「賛否型」1つだけだったので、ほかの2つを足した。

型	3段落の中身	使う文型
A 賛否型	背景 → 賛成派の利点 → 反対派の欠点	話題 has become increasingly common. Supporters argue that 利点, which 利点の結果. However, critics point out that 欠点, so 欠点の結果.
B 問題解決型	問題 → 原因 → 対策（とその課題）	問題 has become a serious issue. This is mainly because 原因. To deal with this, 主体 have started to 対策, although 残る課題.
C 変化型	以前 → 変化（新しい動き）→ その影響	In the past, 以前の状態. Recently, however, 変化 because 理由. As a result, 影響.

要約のルール

- **本文の文をそのまま写さない。**品詞や言い方を変える（丸写しは語彙・内容で減点）。
- **具体例はまとめて抽象化：**smartphones, tablets and laptops → electronic devices
- **数字・固有名詞・細かい例はカット。**
- **自分の意見は書かない。**I think / In my opinion は使わない。
- **段落ごとに日本語で要点を1行メモ**してから英文にする。
- **60語未満は内容不足、70語を大きく超えると要約になっていない**と見られる。

言い換え用フレーズ

増えている	is on the rise / is becoming widespread / a growing number of ~	**原因は**	This is largely due to ~ / ~ is driven by ~
利点がある	has several advantages / is beneficial for ~	**懸念**	raises concerns about ~ / has some drawbacks
結果	As a result, / This leads to ~	**対策**	take measures to ~ / introduce ~ to ~

2 理由ネタ帳

POINTSによく出る観点 → そのまま使える理由

Cost / Economy	reduce the financial burden on ~ / boost the local economy / create new jobs / be too expensive for taxpayers
Environment	reduce CO_2 emissions / cut down on waste / protect natural resources / put pressure on the environment
Health / Safety	improve people's physical and mental health / lower the risk of accidents / cause stress and anxiety
Education	help students develop practical skills / widen the gap between rich and poor students / motivate students to learn
Technology	make ~ more efficient / save time and effort / lead to privacy problems / make people too dependent on ~
Society / Aging	deal with the labor shortage / support the aging population / strengthen community ties / increase inequality

準1級は「日本の社会問題」（少子高齢化・労働力不足・環境・AI・観光）がよく出る。この6行で多くのPOINTSに対応できる。

3 時間配分

筆記90分

- ライティング2題を**先に40分**（要約15分→意見論述25分）。後回しにすると時間切れで丸ごと0点になる。
- 語彙（大問1）：12分。迷ったら印を付けて次へ。
- 長文（大問2・3）：残り約38分。
- 意見論述の25分：型を決める3分 → 書く17分 → 見直し5分。

4 見直しチェック

- ☐ 語数：意見120〜150／要約60〜70
- ☐ 三単現の s・名詞の複数形・冠詞（a / the）
- ☐ 短縮形を使っていない
- ☐ 理由1と理由2の中身が重ならない
- ☐ 立場（主語と時制）が最初から最後まで同じ
- ☐ 要約に自分の意見が入っていない

L リスニング　どこを聞くか

約30分・Part1 12問／Part2 12問／Part3 5問

0 全パート共通：放送の前に選択肢を読む

- 解答したら、**すぐ次の問題の選択肢へ。**前の問題を引きずらない。迷ったら一番近いものを塗って次へ。
- 選択肢4つを見比べ、**違うところ（主語・動詞・数字）**に印を付ける。聞くべき点が先に分かる。
- 正解は、放送の語を**言い換えた**選択肢であることが多い。放送と同じ語が入った選択肢は、ひっかけを疑う。

1 Part1 会話（12問）

男女の会話＋質問1つ

大事に聞くところ

- **最後のやりとり。**結論（何をすることにしたか）は会話の終わりに出る。
- **But / Actually / Well, / To be honest のあと。**話が逆転し、本音が出る。
- **提案と、その返事。**Why don't you ~? / How about ~? に対して、受けたか断ったか。

質問の型

- What will the man probably do next? → 最後に決めたこと
- What does the woman imply? → 直接は言っていない本音（遠回しな断り）
- What is the couple's problem? → 前半に出る困りごと

ひっかけ：会話の途中で一度出て、あとで取り消された案（"I was going to ~, but ..."）。

2 Part2 説明文（6題×2問）

アカデミックな話題、約2分

大事に聞くところ

- **1問目は前半、2問目は後半**から出ることが多い。前半で1問目の答えを決めておく。
- **However / In fact / Researchers found / As a result のあと。**研究の結論・意外な事実がくる。
- **「なぜ」と「その結果」。**原因と結果の組み合わせが、そのまま問いになる。

メモの取り方

- タイトル（話題）を聞いたら、選択肢の主語と照らす。
- 数字・年代はメモするが、**数字そのものが答えになることは少ない。**数字が示す「増えた／減った」を取る。
- 固有名詞（人名・地名）は聞き取れなくてよい。「ある研究者」「ある地域」で十分。

3 Part3 Real-Life（5問）

状況と質問を読む時間が10秒

> **10秒でやること**　①Situation から**「自分の条件」**に線を引く（予算・時間・曜日・持ち物・できないこと）。②Question の**動詞**（What should you do? / Where should you go?）を確認する。

- **条件に合わない案を消していく。**放送は複数の案を順に出し、たいてい**前半の案は条件に合わない**（"If you ~, ... But if you ~, ..."）。
- **However / unless / only / except は条件の分かれ目。**ここで答えが決まる。
- 選択肢は放送の言い方を**行動に言い換えた**もの（"call the office" → Contact the staff）。
- 聞き逃したら、その問題はあきらめて、次の10秒を確保する。

4 練習のしかた

- 解き終えたら、**間違えた問題だけスクリプトを見て、どの1文で答えが決まったか**に線を引く。その1文を音読5回。
- Part2は、スクリプトを見ずに**要点を日本語で2行**言えるかを確かめる（要約の練習にもなる）。

S スピーキング（面接）

約8分・ナレーション＋質問4つ

0 流れ

入室	あいさつ・名前・級の確認・簡単な質問（How are you? / Did you come here by train?）。短く、文で答える。
カード	4コマを**1分間**で考える。**最初の文はカードに書いてある。**
ナレーション	2分。4コマを順に、各コマ2〜3文。
No.1	4コマ目の人物の気持ち（カードを見てよい）。
No.2〜4	社会的な話題への意見（カードを裏返す）。

1 ナレーション（2分）

1分で考えるのは「各コマの動詞」だけ

1コマ目	**One day,** カードの最初の文をそのまま . 人物 **said to** 相手 , " 吹き出しのセリフ ."
2コマ目	コマの左上の時の言葉（A few days later, など） , 人物 **was** ～ing（していること） . もう1つの動作 .
3コマ目	時の言葉 , 起きた出来事 . 人物 **was surprised to see / was happy to hear that** ～ .
4コマ目	時の言葉 , 出来事（多くは問題が起きる） . 人物 **was thinking that** 思考の吹き出しの中身 .

- **時制は過去形と過去進行形**で通す。現在形が混ざるのがいちばん多いミス。
- コマの**左上の時の言葉（That evening / The next day / A week later）は必ず使う。**採点で見られる。
- 吹き出しのセリフは、そのまま引用（said, "..."）でよい。思考の吹き出しは was thinking that ~ / was imagining ~。
- 止まったら、絵に見えるものをそのまま言う（There were many people at the station.）。黙るのがいちばん減点。

2 No.1（4コマ目の人物の気持ち）

型	**I'd be thinking, "** 気持ち **."**　例：**I should have** ～すべきだった . / **I'm glad that** ～ .

後悔（I should have ~）と、前向き（but next time, I'll ~）を1文ずつ。2文で十分。

3 No.2〜4（意見）

1文目	**Yes, I think so. / No, I don't think so.**　（最初に立場を言い切る）
2文目	理由（一般論） . **For example,** 例 .
3文目	**That's why** 立場をもう一度、短く .

- W2の**理由ネタ帳がそのまま使える**（Cost・Environment・Health…）。話題は少子高齢化・テクノロジー・環境・働き方が多い。
- No.2・3で Do you think ~? と聞かれたら Yes/No で始める。Should ~? には I think it should / shouldn't.
- No.4 の前に Today, ~. のような前置きがある問いは、その前置きを理由に使ってよい。
- 聞き取れなかったら Could you repeat the question, please?（1回なら減点されない）。

4 態度（アティチュード）

面接官の目を見る・聞こえる声・沈黙を作らない（Let me see. でつなぐ）。カードは No.2 からは裏返す。